

# 新たな宇宙基本計画に向けた提言(概要)

2012年11月20日

一般社団法人 日本経済団体連合会

本年7月に内閣府宇宙戦略室の発足、宇宙航空研究開発機構の見直しなど政府の推進体制が整備  
→来年1月～2月に政府が策定する新たな宇宙基本計画に向け、経団連の提言を取りまとめ

## 新たな宇宙基本計画の意義

- 宇宙産業の振興および安全保障利用の推進(新たな宇宙基本計画における最重要項目)
- 宇宙インフラの構築と利用の推進(自律性の確保、安全・安心の確保に向けた利用)
- 宇宙外交の推進(発展途上国への支援、先進国との共同プロジェクトの実施)

## 重要分野における推進方策

- 宇宙産業の基盤整備(国の長期間の調達確立、衛星やロケット等による宇宙インフラの構築と維持、国産ロケットの利用、高品質なコンポーネントの輸出、宇宙利用技術の開発)
- 宇宙利用の開拓(観測分野のサービスの継続性を確保する共通基盤としての衛星の整備・運用)
- 安全保障への活用(現行予算に加えた特別枠の設置、防衛用途の宇宙システムの整備)
- 防災・減災インフラの構築(通信、観測、測位を活用した宇宙システムの構築、アジア諸国への貢献)

## 宇宙開発利用の重要プログラム

主要分野	具体的取組み
観測	公共リモートセンシング衛星の整備、観測衛星の継続性の確保
測位	準天頂衛星の7機体制の迅速な整備、次世代システムの検討、海外展開の推進
通信・放送	次世代の高度情報衛星通信の技術開発、データ中継機能の強化
安全保障	情報収集衛星や早期警戒衛星などの開発、海洋・宇宙状況監視システムの構築
エネルギー	宇宙太陽光発電システム実験衛星等によるエネルギー伝送技術の開発
有人宇宙活動	国際宇宙ステーションの利用促進、宇宙ステーション補給機の機能向上
宇宙科学	天文観測や月・惑星探査の実施、小惑星探査機や小型科学衛星の開発
スペースデブリ(宇宙ゴミ)対策	国際的な法制度の整備、宇宙の環境保全に貢献するシステムの開発
輸送	H-II AとH-II Bの安定的な運用と次期基幹ロケットの開発、小型ロケットの開発
射場等	射場や地上設備などのインフラの整備

## 推進体制の強化

- 総合的な宇宙政策の推進(宇宙開発戦略本部の司令塔機能の発揮、適正予算の確保)
- JAXAの活動の推進(産業振興、安全保障利用等に取り組むための中期目標と中期計画の策定)
- 官民の連携強化(研究開発、利用、商業化の推進、新興国に対する宇宙のパッケージインフラ輸出)
- 宇宙関連法制等の整備(企業の参入促進、日米衛星調達合意の廃止、国産ロケットの利用促進)
- 人材育成(産業の裾野の拡大と教育政策の連携、学校教育の充実、専門家や研究者の育成)